

ハノイの寒食節

日本で3月3日といえば「雛祭り」ですが、ベトナムの旧暦3月3日（西暦4月14日）は「寒食節」といわれる祭日です。その日に、ベトナム人は日本の白玉団子のようなお菓子の「Bánh Trôi（バインチョイ）」、「Bánh Chay（バインチャイ）」を作る習慣があります。「寒食節」という名前は、食べ物



ベトナムの旧暦3月3日は「寒食節」という祭日

の準備の段階を含めてあらゆる種類の火を避ける伝統に由来していて、ベトナム語では「冷たい食べ物」という意味もあります。元々は、中国の寒食節（春秋戦国時代の晋の文侯が、忠臣を誤って焼き殺してしまったことから爾後この日に火を使うことを禁じたという故事に由来する）がベトナムに伝わったものですが、ベトナムでは「寒食節」は一般的な呼称ではなく、「バインチョイ・バインチャイの日」という言い方がよく使われます。



バインチョイ



バインチャイ



バインチャイ・バインチョイ

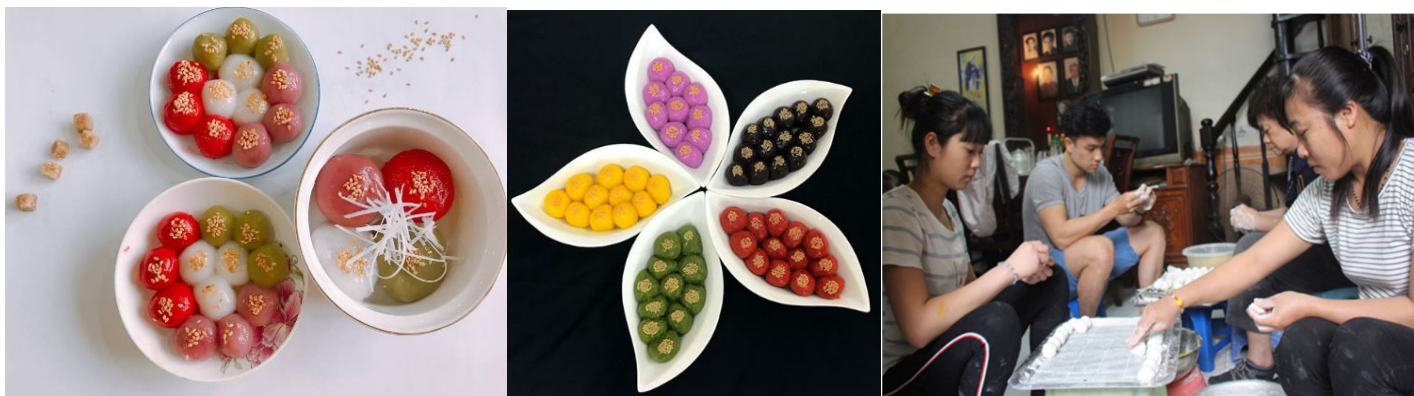
当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

この寒食節というのは、実はベトナム全土で祭られるというわけではなく、ハノイを中心とした北部の習慣です。ベトナム北部ではこの日になると、通りのあちこちに“にわか餅菓子売り”がたくさん登場し街を賑わします。また餅菓子を手作りして楽しむ家庭も多くあります。中部や南部ではこのようなことは見られません。南部では3月3日は何の日かわからない人も多く、また知っている人がいてもただ「餅菓子を食べる日」という程度の認識しかないことが多いのです。

「バインチョイ」は黒砂糖を米粉で作った生地で包んだ白い団子状の菓子で、上に白ごまをトッピングします。「バインチャイ」は緑豆の餡が入っている団子に、ザボンやバニラあるいは生姜などで香り付けした葛のシロップをかけていただきます。バインチャイの団子はバインチョイよりも大きめに作ります。最近では、様々な色が付けられたカラフルなバインチョイ・バインチャイを目にすることもあります。

先祖を「バインチョイ」と「バインチャイ」で供養する習慣もあります。海外に滞在するベトナム人でもこの習慣を守り、家族が集まり一緒に「バインチョイ」と「バインチャイ」を作って食べることもあります。信仰の意味合いが強い面もありますが、ベトナム人の食文化の一つともいえるのです。



カラフルなバインチョイ・バインチャイ

バインチョイ・バインチャイを作る

【写真提供：JVRC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。